

公益社団法人 全国柔道整復学校協会
制度委員会

「卒業生の進路状況調査結果について」ご報告

平成 23 年度の制度委員会の新しい事業として、「卒業生の進路状況調査」を実施しました。調査対象者は、平成 19 年 3 月から平成 23 年 3 月までの 5 年間に亘る卒業生です。全国の養成施設に調査依頼を行い、調査に対し承諾をいただきました養成施設の卒業生にご協力お願いいたしました。

ご協力をいただいた皆様には、厚くお礼申し上げます。

皆様からいただいた回答を基に、ブロック別に集計した調査結果となっております。

柔道整復師養成施設卒業生 進路状況アンケート調査

結果報告書

<平成23年12月 実施>



社団法人 全国柔道整復学校協会

柔道整復師養成施設卒業生 進路状況アンケート調査 目 次

序 文	制度委員会担当理事 関 口 正 雄
調査の概要	1
第1章 調査結果の概要	5
1) 関連業務の従事状況	5
2) 取得免許なしの方の現在の状況	26
3) 日本柔道整復・接骨医学界の入会状況、卒後臨床研修の受講状況	29
第2章 資 料 編	37
1) クロス集計表	39
2) クロス集計表（開設又は勤務地地域区分別）	73
3) 記述式回答一覧	211
社団法人 全国柔道整復学校協会進路状況アンケート 調査協力柔道整復師養成施設（専門学校）一覧	235
社団法人 全国柔道整復学校協会委員会委員名簿	238

○ 調査の概要

1. 調査の目的

平成19年3月から平成23年3月までの5年間の「柔道整復師養成施設(専門学校)」の卒業生が卒業後、どのような進路及び社会的な活動の場を選ばれたか等について幅広く効率的な意見の収集を行い、活動の実態を把握することで、卒業生や後輩の方々に役立つ情報の提共を行うことを目的とした。

2. 調査の対象及び調査客体

本調査は、柔道整復師養成施設(専門学校)を平成19年3月から平成23年3月までに卒業した卒業生(約12,000名)を調査対象とし、転居先不明者等を除き、確認のできた者を調査客体とした。

3. 調査の実施方法

本調査は、柔道整復養成施設(専門学校)のうちアンケートにご協力頂ける学校において、予め名簿(卒業年次ごとの氏名、住所など)を作成し、その名簿に基づき、当該学校から各々の対象者宛に調査票を郵送して実施した。

4. 調査の実施期日及び調査票提出日

本調査の実施日は、平成23年12月16日とし、調査票の提出は平成23年12月26日までとして返信用封筒により調査票の回収を行った。

5. 調査票及び同記入要領

資料に添付の柔道整復師養成施設卒業生・進路状況アンケート調査用紙及び同記入要領の通りである。

6. 調査及び集計・分析委託機関

この調査の企画立案は、社団法人全国柔道整復学校協会制度委員会が担当し、調査票の集計・分析は株式会社日本インヴェスティゲーションに委託した。

【用語解説】

○ 無効票

今回の調査において回収された調査票数及び有効・無効の判定基準は次の通りである。

総回収調査票数 2,877 票

内 有効票 2,666 票

無効票 211 票

無効票の内訳

a. 調査票に学校名の記載がない

b. 卒業年度が調査対象の 2007 年～2011 年以外

○ 地域区分

地域区分は、次の通りの各県を含むものとする

【北海道・東北】 北海道,青森県,岩手県,秋田県,宮城県,山形県,福島県,

【関東・甲信越】 埼玉県,群馬県,栃木県,茨城県,千葉県,神奈川県,山梨県,
長野県,新潟県

【東京】 東京都

【東海・北陸】 静岡県,愛知県,岐阜県,富山県,石川県,福井県

【近畿】 京都府,滋賀県,三重県,奈良県,和歌山県,兵庫県

【大阪】 大阪府

【中・四国】 鳥取県,岡山県,島根県,広島県,山口県,香川県,徳島県,
愛媛県,高知県

【九州・沖縄】 福岡県,佐賀県,長崎県,大分県,熊本県,宮崎県,鹿児島県,
沖縄県

○ 地域区分含まれる調査対象校一覧

各地域区分に含まれる調査対象校は次の通りである。

地域区分	所在地(県)	学校名
北海道・東北	北海道	附属北海道柔道整復専門学校
		日本工学院北海道専門学校
		北海道ハイテクノロジー専門学校
	宮城県	仙台接骨医療専門学校
		赤門鍼灸柔整専門学校
		東日本医療専門学校
	岩手県	盛岡医療福祉専門学校
福島県	福島医療専門学校	
関東・甲信越	群馬県	前橋東洋医学専門学校
	埼玉県	大川学園医療福祉専門学校
		さいたま柔整専門学校
		呉竹医療専門学校
	神奈川県	神奈川柔道整復専門学校
		呉竹鍼灸柔整専門学校
	長野県	信州医療福祉専門学校
長野救命医療専門学校		
東京	東京都	日本柔道整復専門学校
		東京柔道整復専門学校
		東京医療専門学校
		大東医学技術専門学校
		日体柔整専門学校
		日本医学柔整鍼灸専門学校
		東京医学柔整専門学校
		了徳寺学園医療専門学校
		朋友柔道整復専門学校
		中央医療学園専門学校
		東京メディカル・スポーツ専門学校
		日本工学院八王子専門学校
		日本健康医療専門学校
山野医療専門学校		

東京	東京都	関東柔道整復専門学校
		新宿鍼灸柔整専門学校
東海・北陸	静岡県	専門学校浜松医療学院
		専門学校白寿医療学院
		常葉学園医療専門学校
	愛知県	米田柔整専門学校
		中和医療専門学校
	石川県	北信越柔整専門学校
岐阜県	岐阜保健短期大学医療専門学校	
大阪	大阪府	関西医療学園専門学校
		行岡整復専門学校
		明治東洋医学院専門学校
		平成医療学園専門学校
		森ノ宮医療学園専門学校
		西日本柔道整復専門学校
		履正社医療スポーツ専門学校
		近畿医療専門学校
		大阪府柔道整復師会専門学校
近畿	兵庫県	関西健康科学専門学校
	滋賀県	甲賀健康医療専門学校
	京都府	京都仏眼医療専門学校
中・四国	岡山県	朝日医療専門学校岡山校
	広島県	IGL 医療専門学校
		朝日医療専門学校広島校
香川県	四国医療専門学校	
九州・沖縄	福岡県	福岡医療専門学校
		福岡医健専門学校
		福岡天神医療リハビリ専門学校
	佐賀県	九州医療専門学校
	鹿児島県	今村学園ライセンスアカデミー

第1章 調査結果の概要

1) 関連業務の従事状況

【関連業務への従事状況】

全体の 92.0%が関連業務に従事しており、卒業後は取得した技術を活用した業務に従事している状況が把握できる。

地域的な有意差は見られないが、東日本(北海道・東北,関東甲信越,東京)よりも、西日本(東海・北陸,大阪,近畿,中・四国,九州・沖縄)のほうが、関連業務に従事している率が高いという特徴が見受けられる。

⇒ 図 1-1

【関連業務の従事内容】

関連業務の従事内容としては、「施術所などの医療施設に勤務している」が第一位であり、全国では全体の 59.6%を占めている。次が「施術所を開設している」(20.6%)であり、「学生で施術所等医療施設に勤務している」(4.7%),「医療施設以外で勤務している」(4.2%)はほぼ均衡となっている。

地域別の特徴では、北海道・東北,関東甲信越,東京,東海・北陸地域が「施術所などの医療施設に勤務している」の比率が高く、大阪以西(大阪,近畿,中・四国,九州・沖縄)では、「施術所を開設している」の比率が他地域よりも高い結果が得られている。特に北海道・東北地域と東海・北陸地域では、「施術所などの医療施設に勤務している」の比率が高く、大阪地域と近畿地域では「施術所を開設している」比率が高くなっている。

また、大阪地域では「学生で施術所を開設している」比率が大きな特徴となっており、対照的に東京地域では「学生で施術所等医療施設に勤務している」比率が高くなっている。

⇒ 図 1-2, 図 1-3

【関連業務に従事していない理由】

従事していない理由については、「他業種で勤務」が 35.4%で、「進学」が 18.0%となっている。その他の理由としては、「結婚,子育て」関連が「その他」の理由の 1/3 を占めており、他には「開業準備」や「病気療養」などの理由が回答されている。

⇒ 図 1-4

【関連業務に従事している方の現在の状況】

関連業務に従事している方で、施術所を開設している方の現在の状況では、「接骨院」が第一位で63.8%、第二位が「鍼灸接骨院」で28.1%を占め、ほぼこの二種類に集約されている。

地域特性としては、北海道・東北地域と九州・沖縄地域では「接骨院」の占める割合が高く、「鍼灸接骨院」の比率が低くなっている。逆に大阪地域では他地域に比較して「接骨院」の占める割合が低く、「鍼灸接骨院」の占める割合が高くなっている。

また、関東甲信越地域と東京地域では「あん摩マッサージ指圧院」および「鍼灸按院」の比率が高いことが特性となっている。

⇒ 図1-5, 図1-6

【関連業務に従事している方の業界団体への加入状況】

関連業務に従事しており、施術所を開設している方の業界団体への加入状況では、全体の70.0%が入会しており、未入会は全体の1/3以下となっている。

地域特性としては、近畿地域での入会率が54.0%と低く、未入会が46.0%と高いことが特徴的であり、北海道・東北地域と九州・沖縄地域では逆に80.6%、89.6%が入会しており、入会率が高い結果となっている。

なお、回答のあった加入団体名については、別表の通りである。

⇒ 図1-7, 表1-1

【関連業務に従事している方の開設施術所の従業員数】

関連業務に従事しており、施術所を開設している方の勤務先(施術所)の従業員数では、「0人」(23.8%)と「1人」(25.8%)とで、全体の49.6%を占めており、平均従業員数も2.23人で、小規模経営の勤務先(施術所)が多いことを示している。

地域的には、東京地域,大阪地域,近畿地域,九州・沖縄地域といった大都市を抱える地域では従業員数の多い勤務先(施術所)の比率が高くなっており、北海道・東北,東海・北陸,中・四国地域といった地方都市部では小規模経営の勤務先(施術所)の比率が高い結果となっている。

これらは、一概には判断できないものの、市場規模との関連性は高く、人口集中地域では従業員数が多くなり、人口密度の低い地域では個人経営の開設施術書が多いことを示しているものと思われる。

⇒ 図1-8, 図1-9

【関連業務に従事している方の開設施術所における 1 日の平均患者数】

関連業務に従事しており、施術所を開設している方の勤務先(施術所)における 1 日の平均患者数は、「10 人以上～20 人未満」が 29.4%、「20 人以上～30 人未満」が 20.0%、「10 人未満」が 18.5%で、これらで全体の 67.9%を占めている。

地域特性の有意差はあまり見受けられないが、九州・沖縄地域で「70 人以上」との回答が他地域よりも高い比率を占めていることが特徴的で、九州・沖縄地域全体として平均患者数の多い勤務先の比率が高いことを示している。

⇒ 図 1-10

【関連業務に従事している方で施術所を開設していない方の現在の状況】

関連業務に従事している方で施術所を開設していない方、および取得免許がなく、免許取得をあきらめた方の現在の勤務状況としては、「接骨院従業員」が 60.4%、「病院・診療所勤務」が 18.6%、「接骨院院長」が 10.4%の順となっている。

地域特性としては、九州・沖縄地域と中・四国地域で「接骨院従業員」の比率が高いことと、東海・北陸地域では「接骨院従業員」の比率が他地域よりも低く、「病院・診療所勤務」の比率が高いことが特徴となっている。

⇒ 図 1-11, 図 1-12

【関連業務に従事している方で施術所を開設していない方の今後の勤務予定】

関連業務に従事している方で施術所を開設していない方、および取得免許がなく、免許取得をあきらめた方の今後の勤務予定では、全体の 60%弱が 3 年以内の勤務予定と回答しており、3 割強が 3 年以上とほぼ現状維持と回答している。

明確な地域特性は見受けられないが、北海道・東北地域では「1 年未満」の回答が少ないのに対して「3 年以上」が 4 割を占めているのに対して、大阪地域では、「1 年未満」の回答が 20%を超える比率となっている。

景気低迷の長期化の影響も反映していると思われるが、施術所開設には当初ある程度の資金が必要であることや、開設後は安定した収入が保証されないことなどから、収入が安定している現在の勤務状況を維持する考え方が主流となっている現状を見ることが出来る。

⇒ 図 1-13

【関連業務に従事している方で施術所を開設していない方の今後の開業予定】

関連業務に従事している方で施術所を開設していない方、および取得免許がなく、免許取得をあきらめた方の今後の開業予定では、「3年以降～」と「未定」を合わせると6割近くを占めており、開業が難しいと感じていることを示している。

この傾向は、北海道・東北地域等の地方都市部では顕著であり、逆に大阪地域や近畿地域では3年以内の開業を予定している回答の比率が高くなっていて、開業意欲の高さを示している。

本調査の回答数をもって判断することは難しいが、北海道・東北地域などの地方都市部での経済格差が、開業を難しく思わせている背景にあるものと考えられ、大阪地域や近畿地域での開業意欲の高さは、同地域で一般的に見られる独立心の高さを反映しているものと伺うことができる。

⇒ 図1-14

【関連業務で従事しているか、他業種で勤務している方の収入】

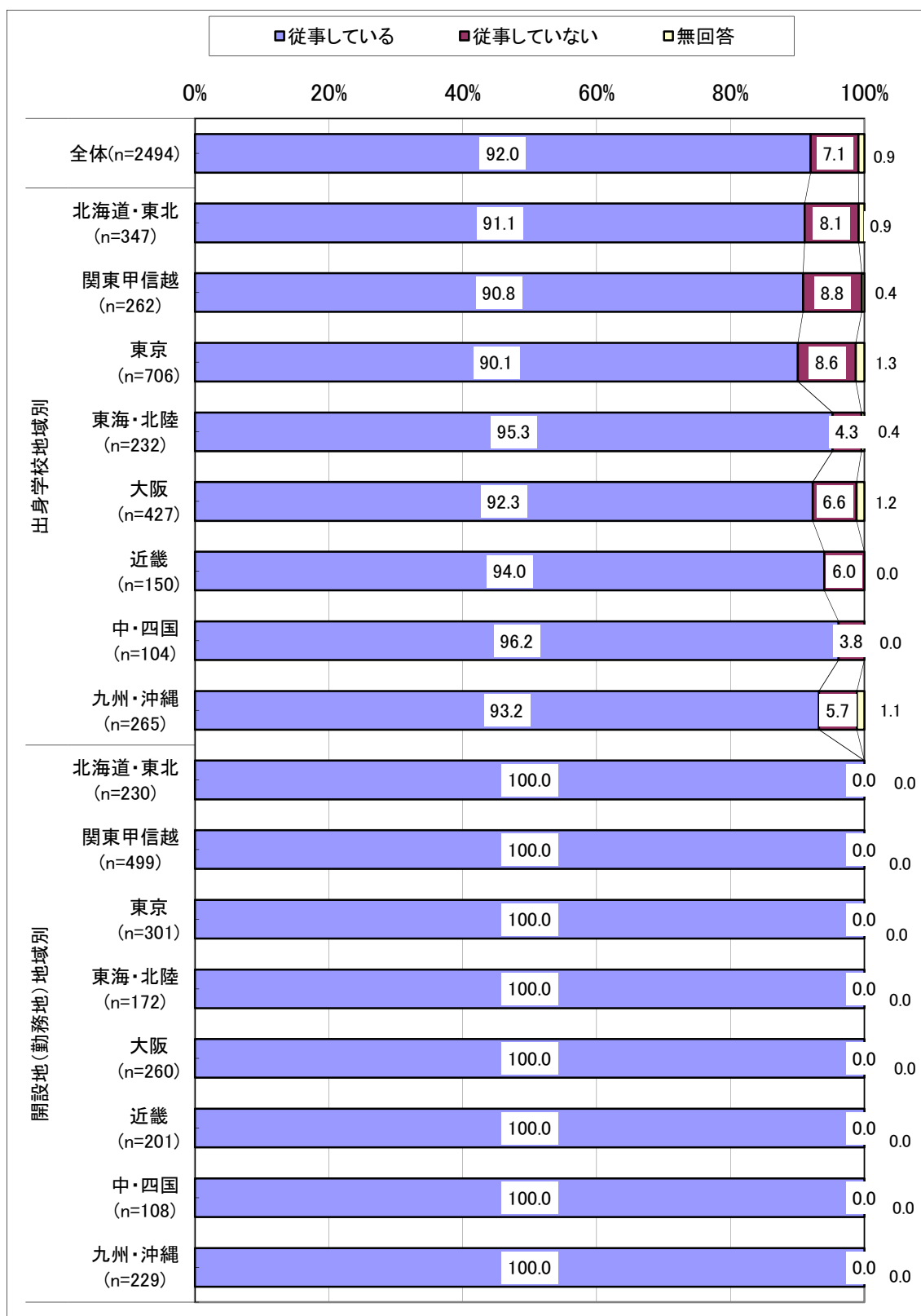
回答者のうち、関連業務で従事している方(施術所を開設されている方を含む)、および他業種で勤務している方の収入の分析では、「20万円以上～30万円未満」が40.1%、「20万円未満」が36.8%で8割弱の回答がこのランクに位置している。

なお、約80%の方の収入が30万円未満となっているが、これは資格取得後5年以内の方々の調査のため、柔道整復師の平均収入額よりは少ないものと推察される。

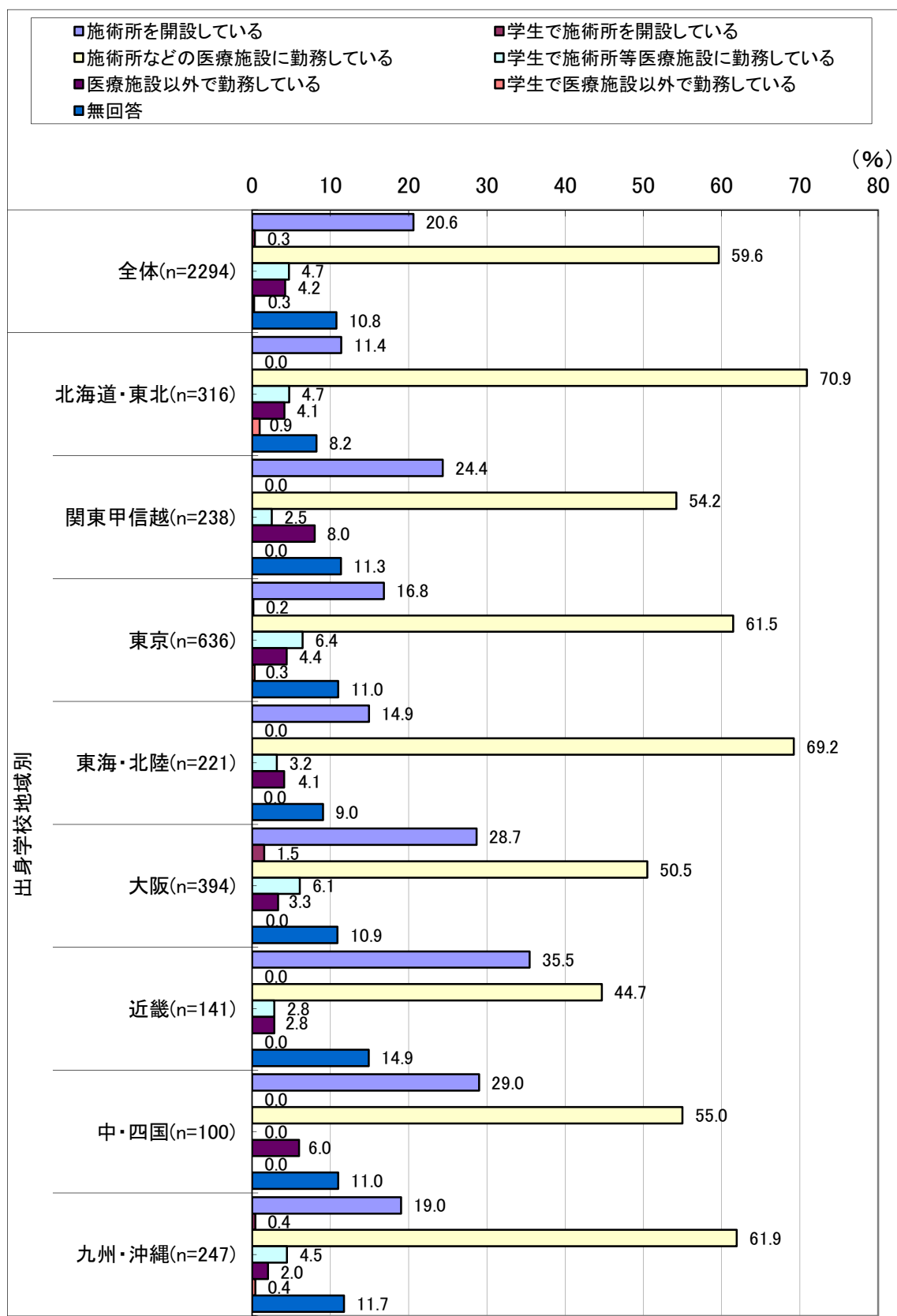
地域的には、北海道・東北、中・四国、九州・沖縄地域では「20万円未満」の回答比率が高く、大阪、近畿地域では「50万円～60万円未満」の比率が高くなっている。収入全体としては、やはり大都市部において平均的に収入が高い傾向を示しているが、「90万円以上」との回答比率については、九州・沖縄、中・四国地域でも高い比率を示していることから、この地域では収入の格差があるものと推察される。

⇒ 図1-15, 図1-16

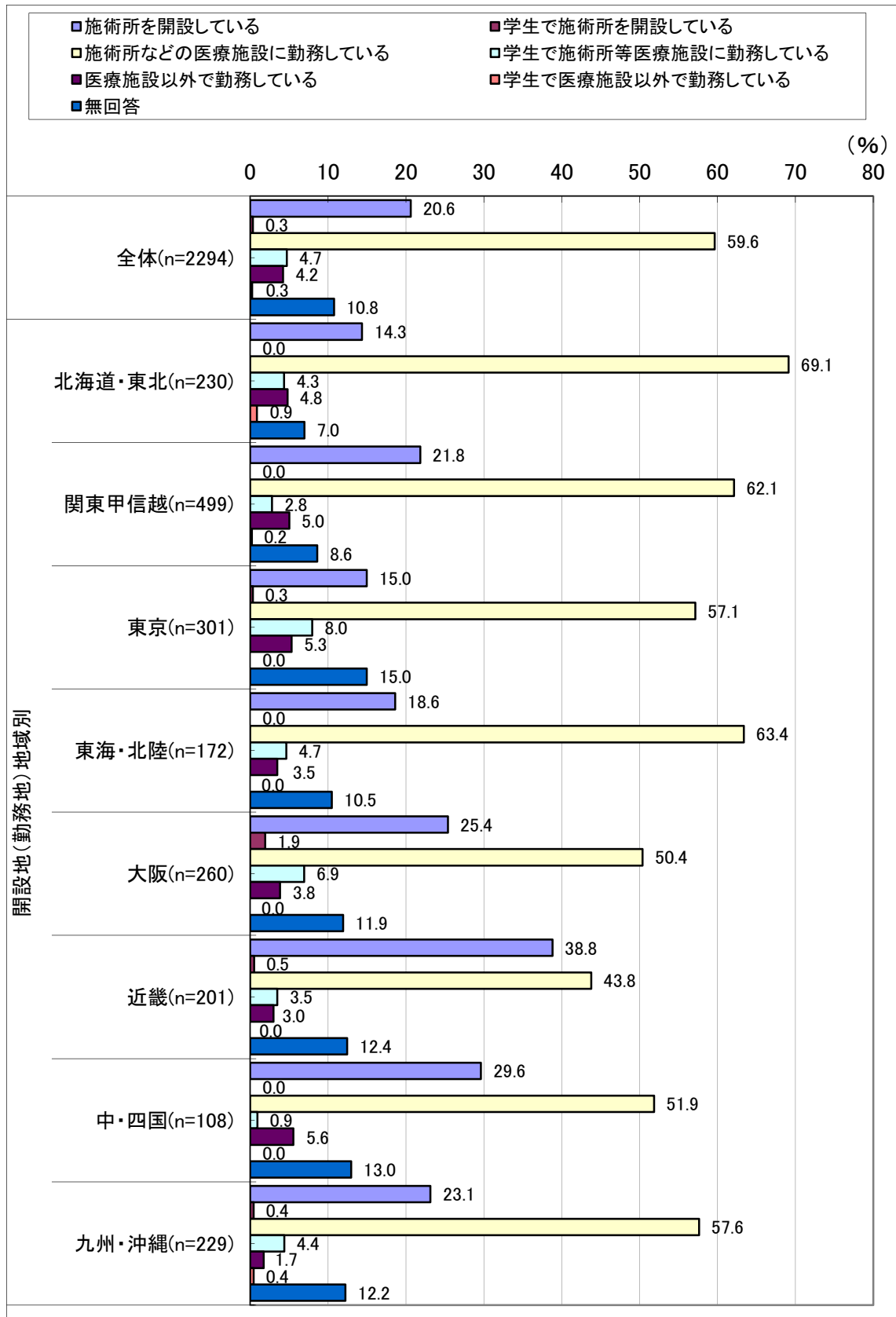
【図 1-1 関連業務の従事状況】



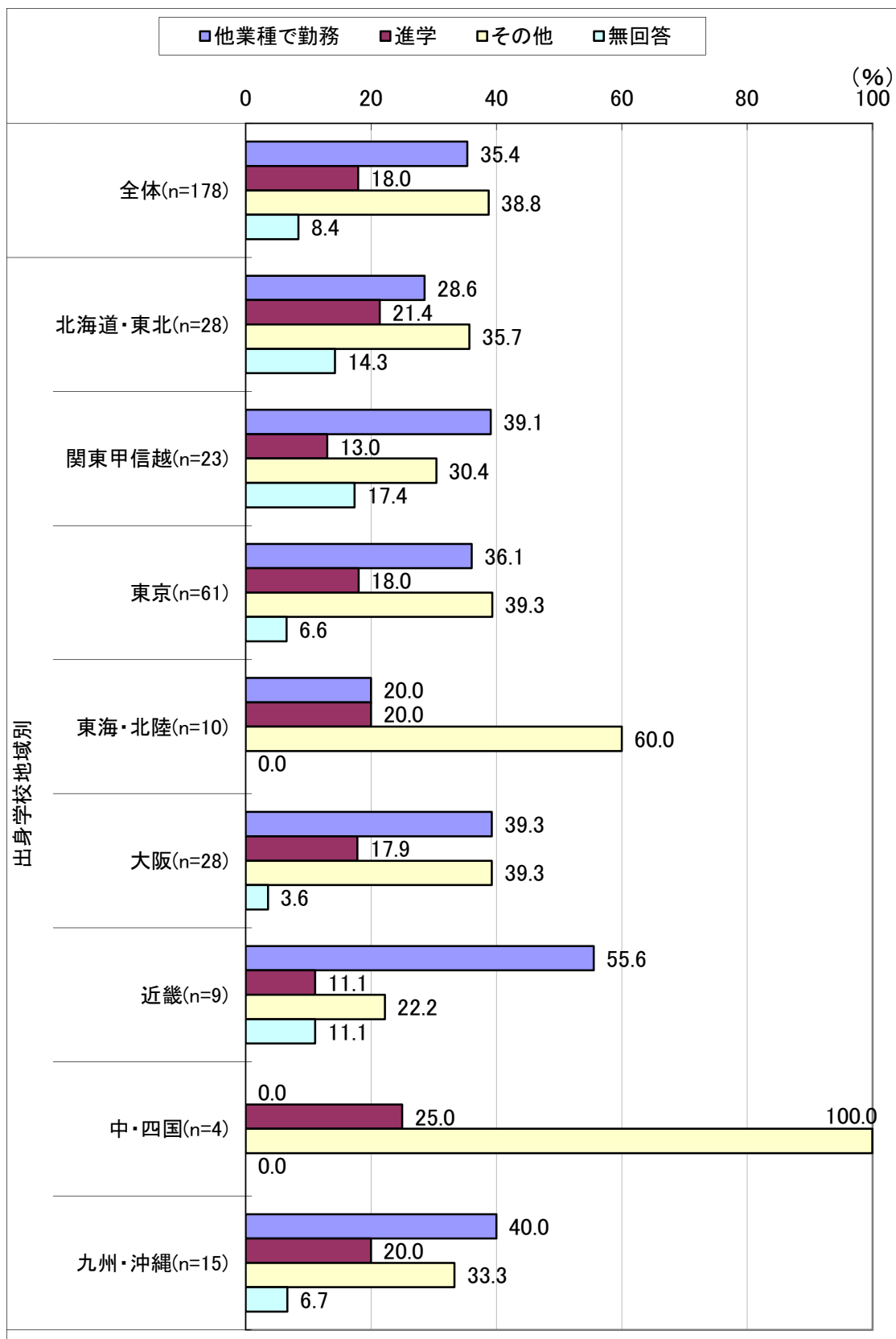
【図 1-2 関連業務に従事している方の従事内容】（出身学校地域別）



【図 1-3 関連業務に従事している方の従事内容】（開設地(勤務地)地域別）

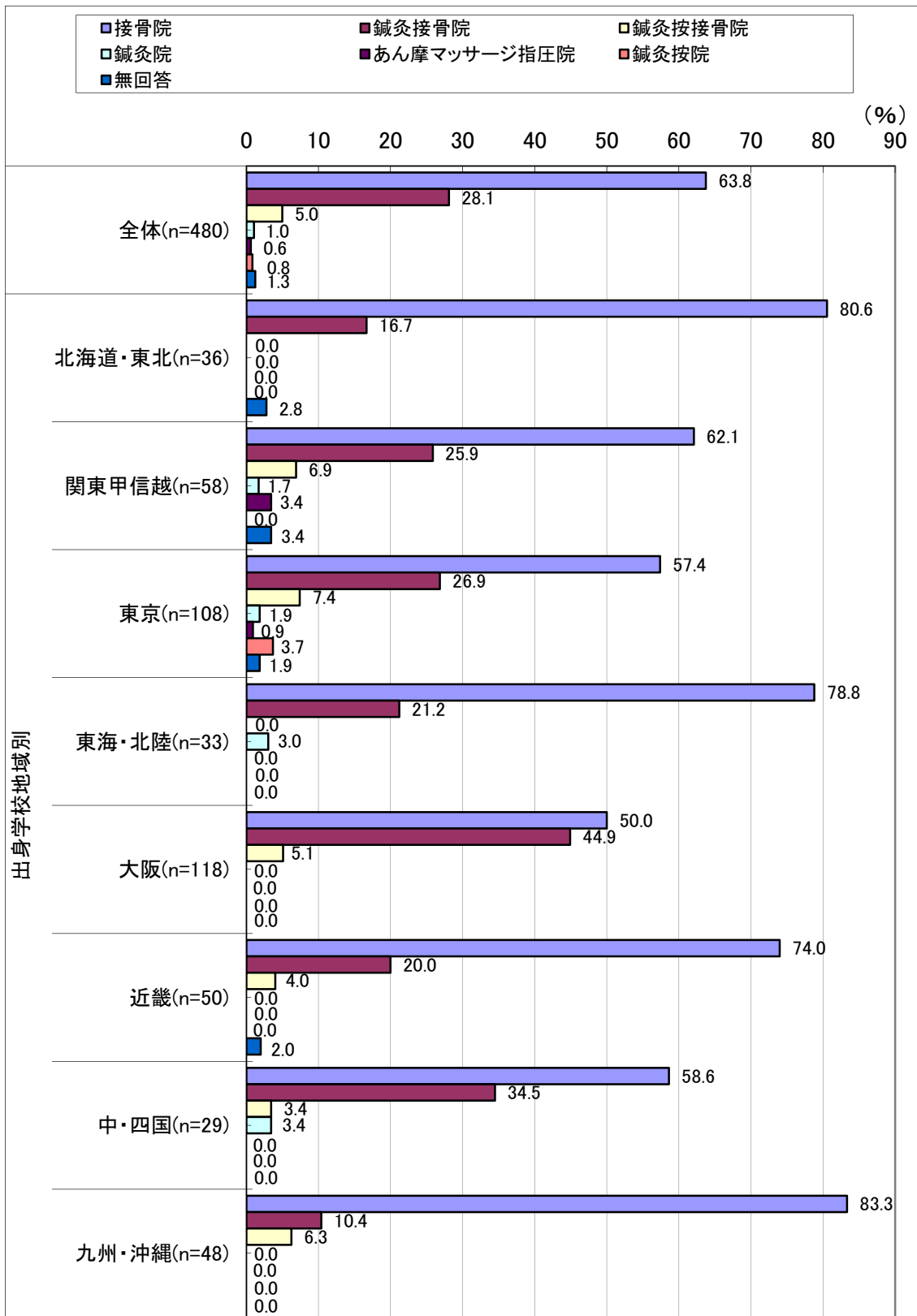


【図 1-4 関連業務で従事していない理由】(出身学校地域別)



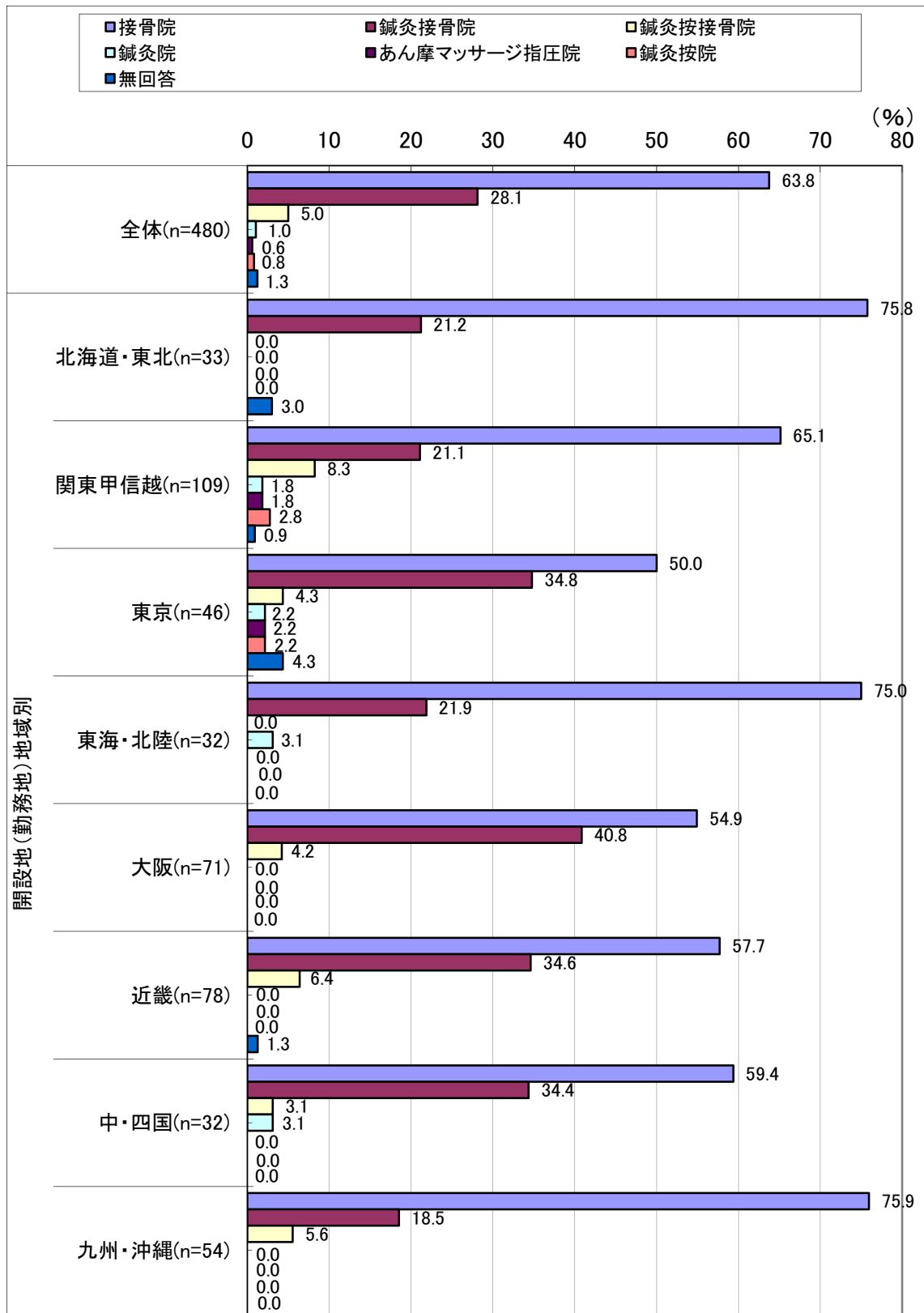
【図 1-5 関連業務に従事しており、施術所を開設している方の現在の状況】

(出身学校地域別)

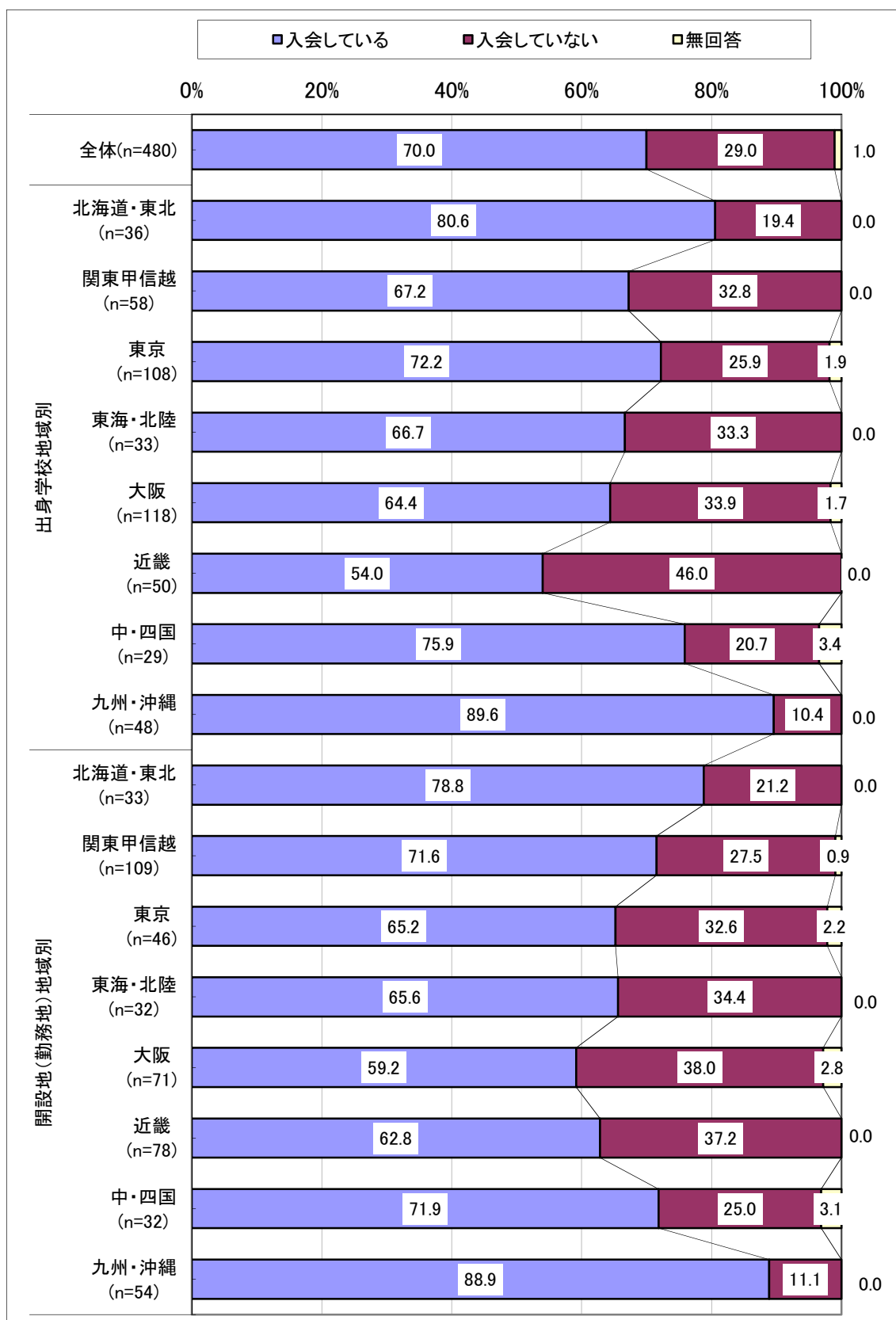


【図 1-6 関連業務に従事しており、施術所を開設している方の現在の状況】

(開設地(勤務地)地域別)



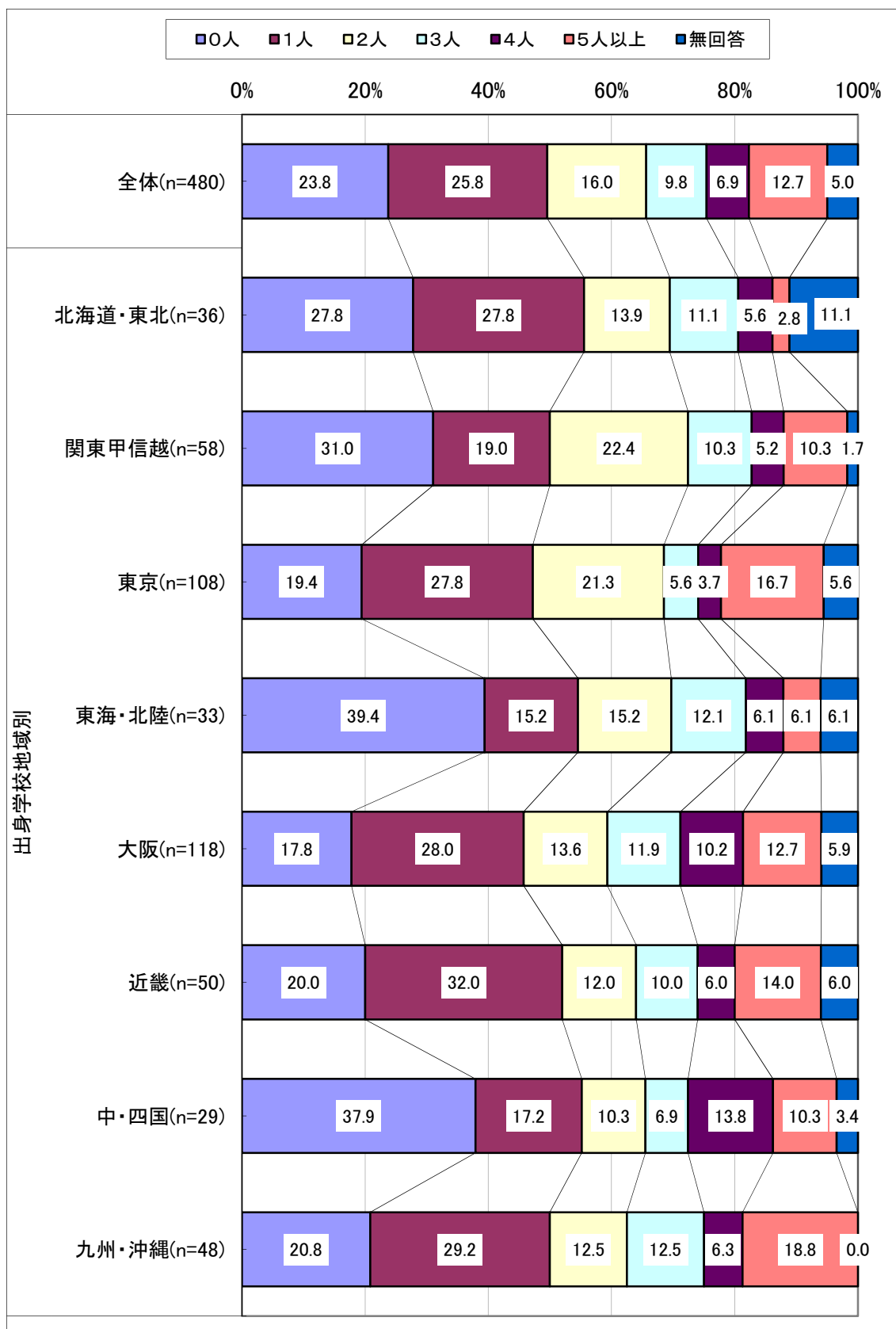
【図 1-7 関連業務に従事している方の業界団体への加入状況】



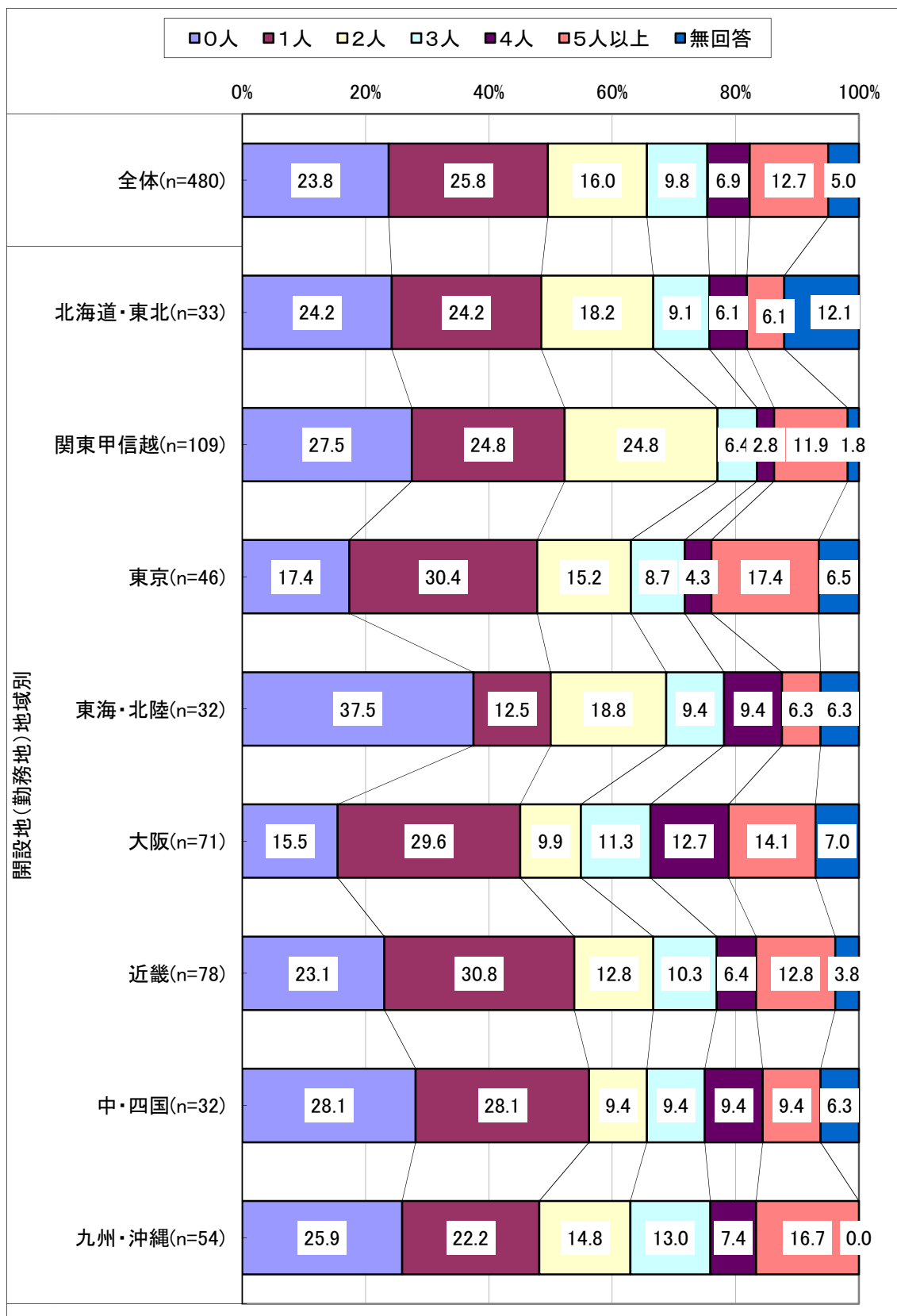
【表 1-1 加入している業界団体】

加入団体名	件数
日本柔道整復師会	122
全国柔整師協会	68
J B 日本接骨師会	8
日本柔整総研	6
日本接骨師会	3
N S K 保険協会	1
中央接骨師会	2
N S K 協同組合	2
U L C 接骨師会	1
アイワ接骨師会	1
あさひ接骨師会	7
アトラ請求サービス	4
オリーブグループ	1
ジャパン柔道整復師会	6
メディカルペイメント	2
メディックス	15
安全保障柔道整復師会	6
関西鍼灸柔整協同組合	1
月整	2
健柔グループ	2
全国柔道整復師会	1
柔整協同組合	1
柔道整復師会協同組合	3
大日本柔道整復師協会	7
中央整復師会	25
中部柔整師協会	1
東洋接骨師会	1
道友協会	7
日本メディカル事務センター	4
その他	9

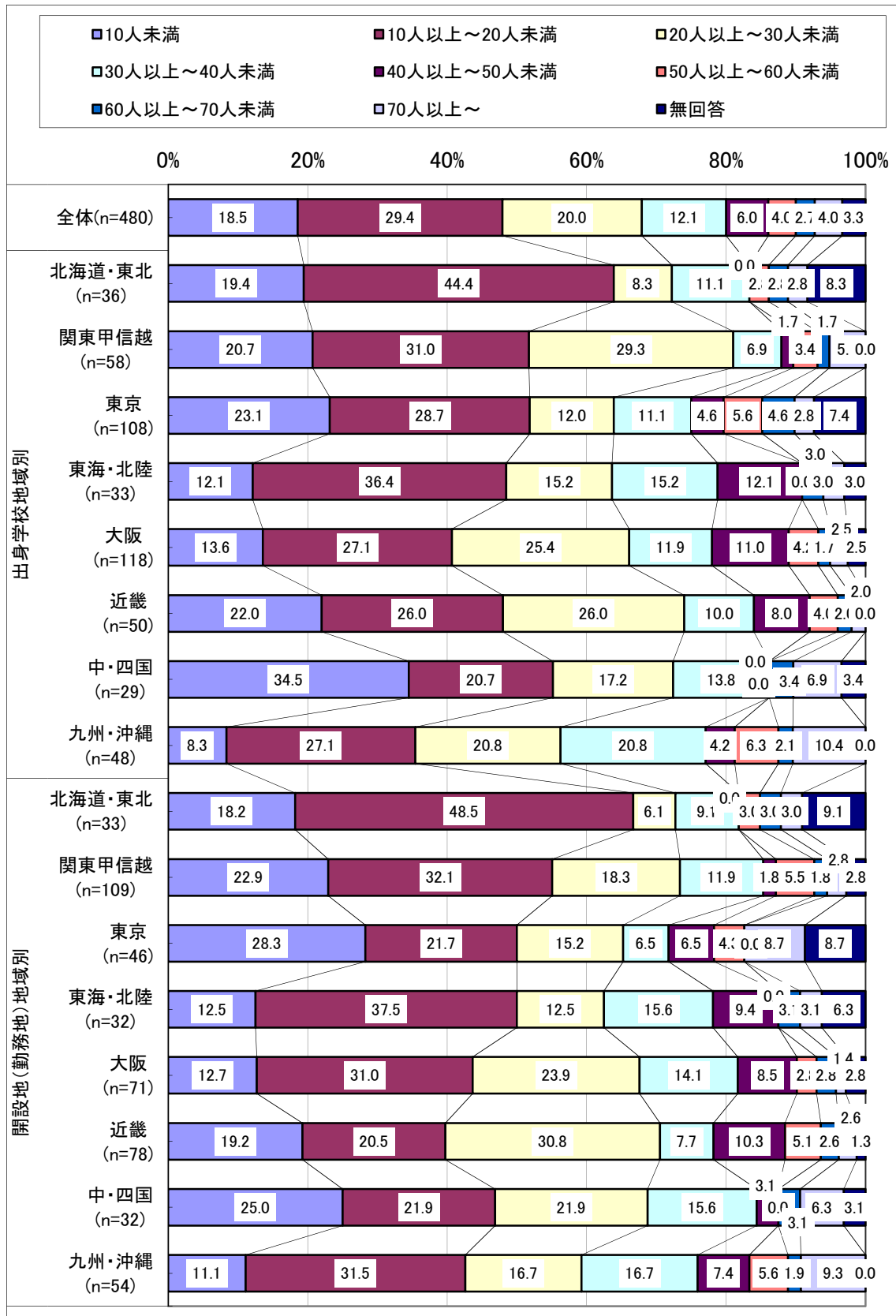
【図 1-8 関連業務に従事している方の開設施術所の従業員数】(出身学校地域別)



【図 1-9 関連業務に従事している方の開設施術所の従業員数】（開設地(勤務地)地域別）

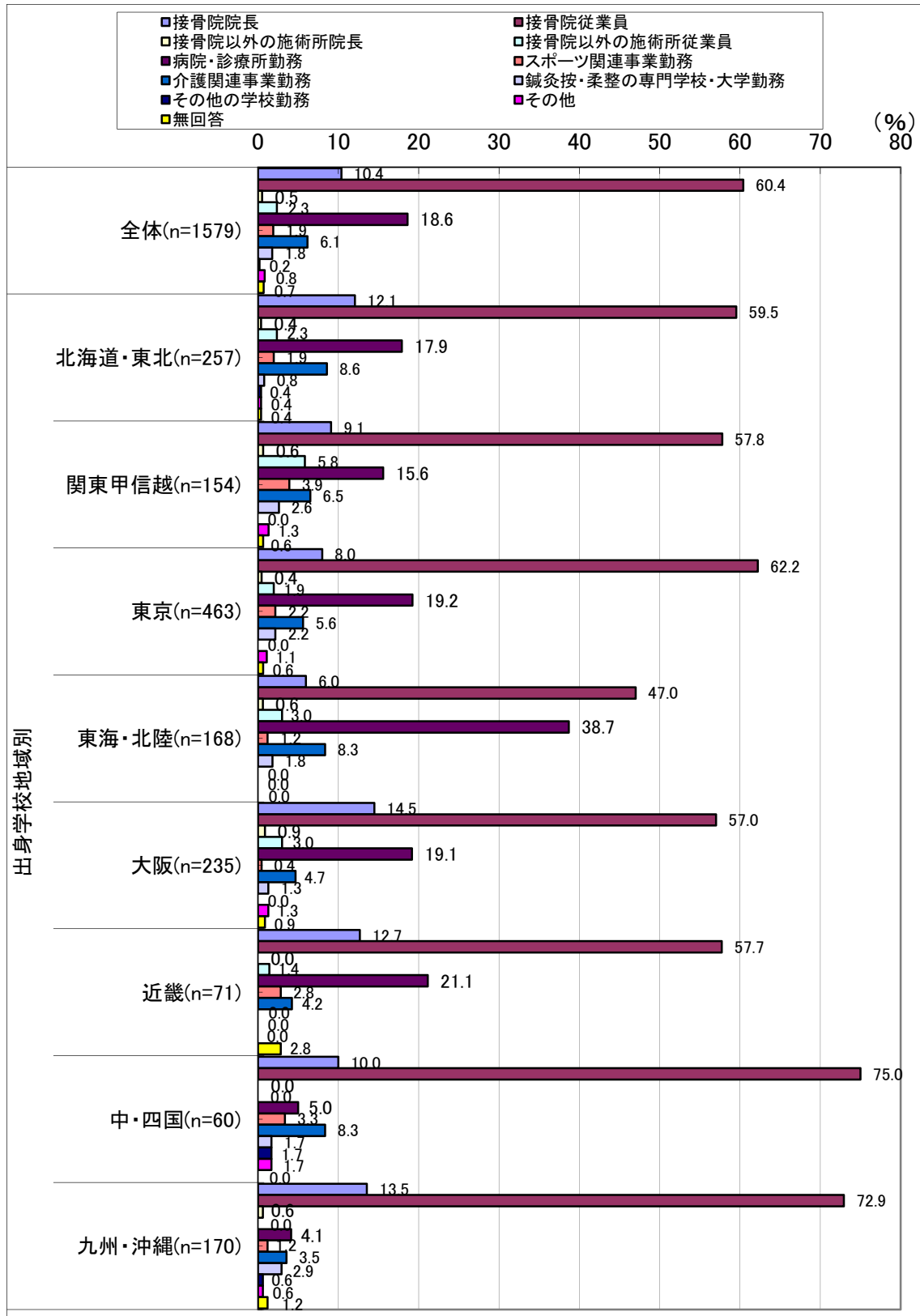


【図 1-10 関連業務に従事している方の開設施術所における 1 日の平均患者数】



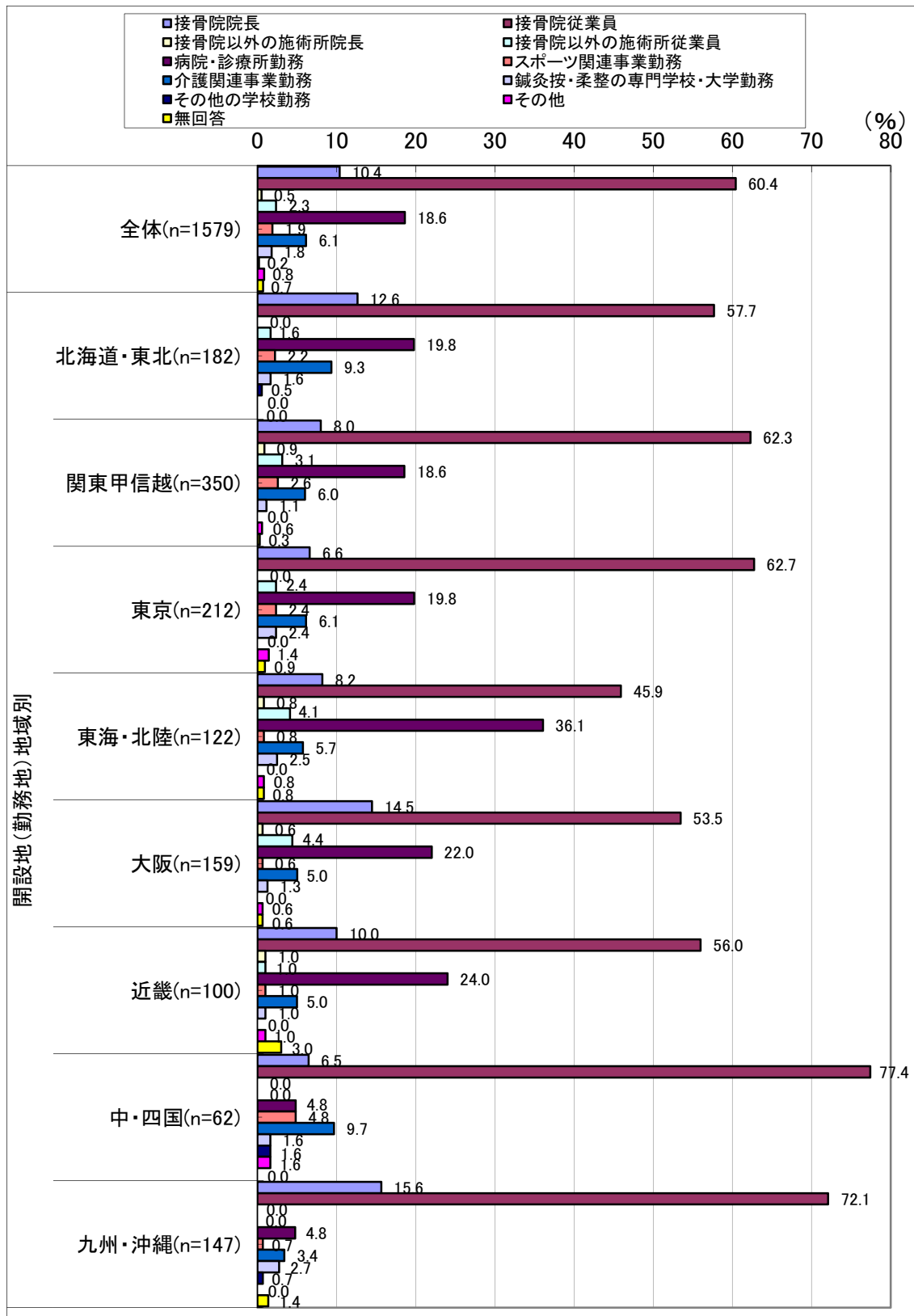
【図 1-11 関連業務に従事している方で施術所を開設していない方の現在の状況】

(出身学校地域別)

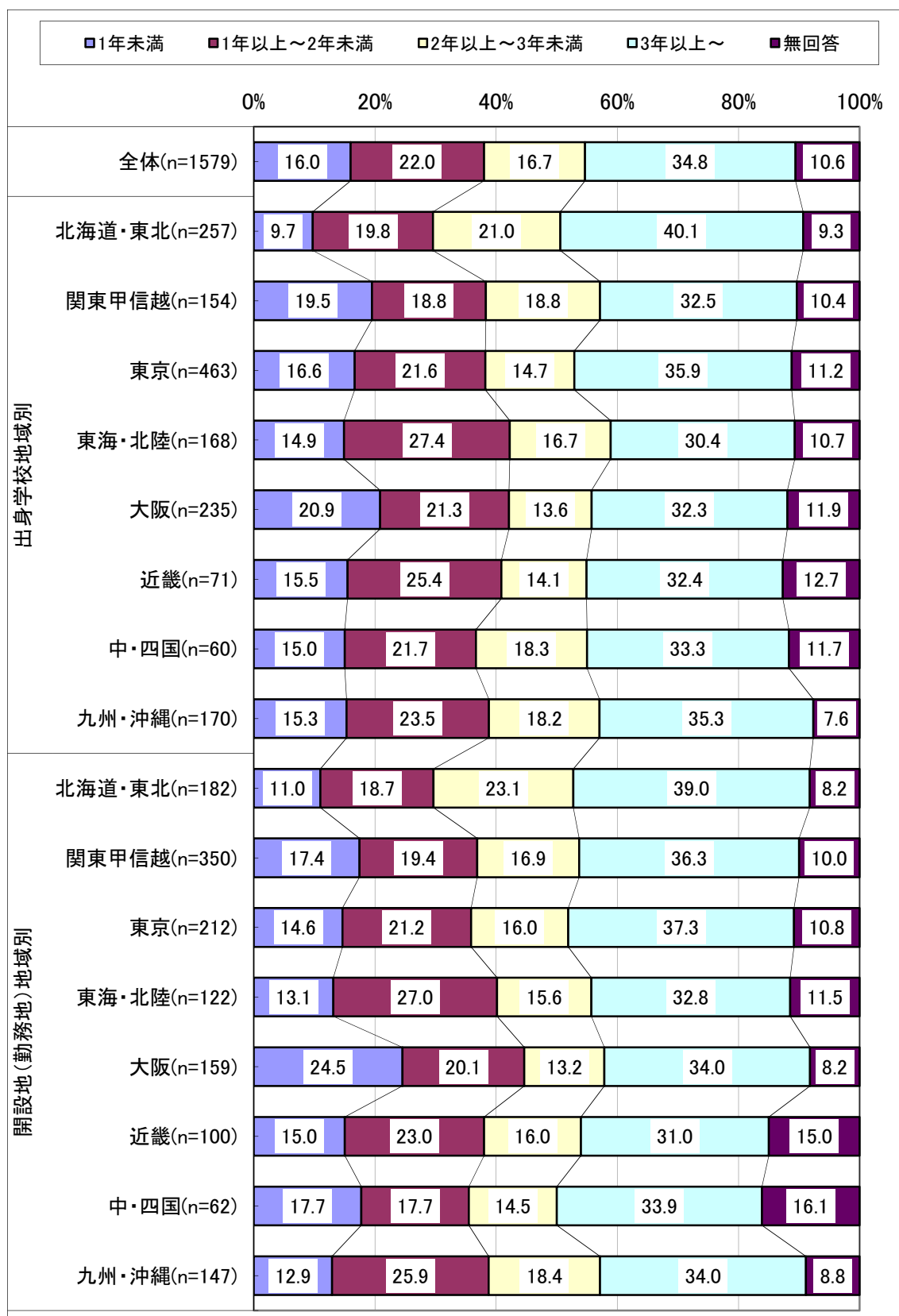


【図 1-12 関連業務に従事している方で施術所を開設していない方の現在の状況】

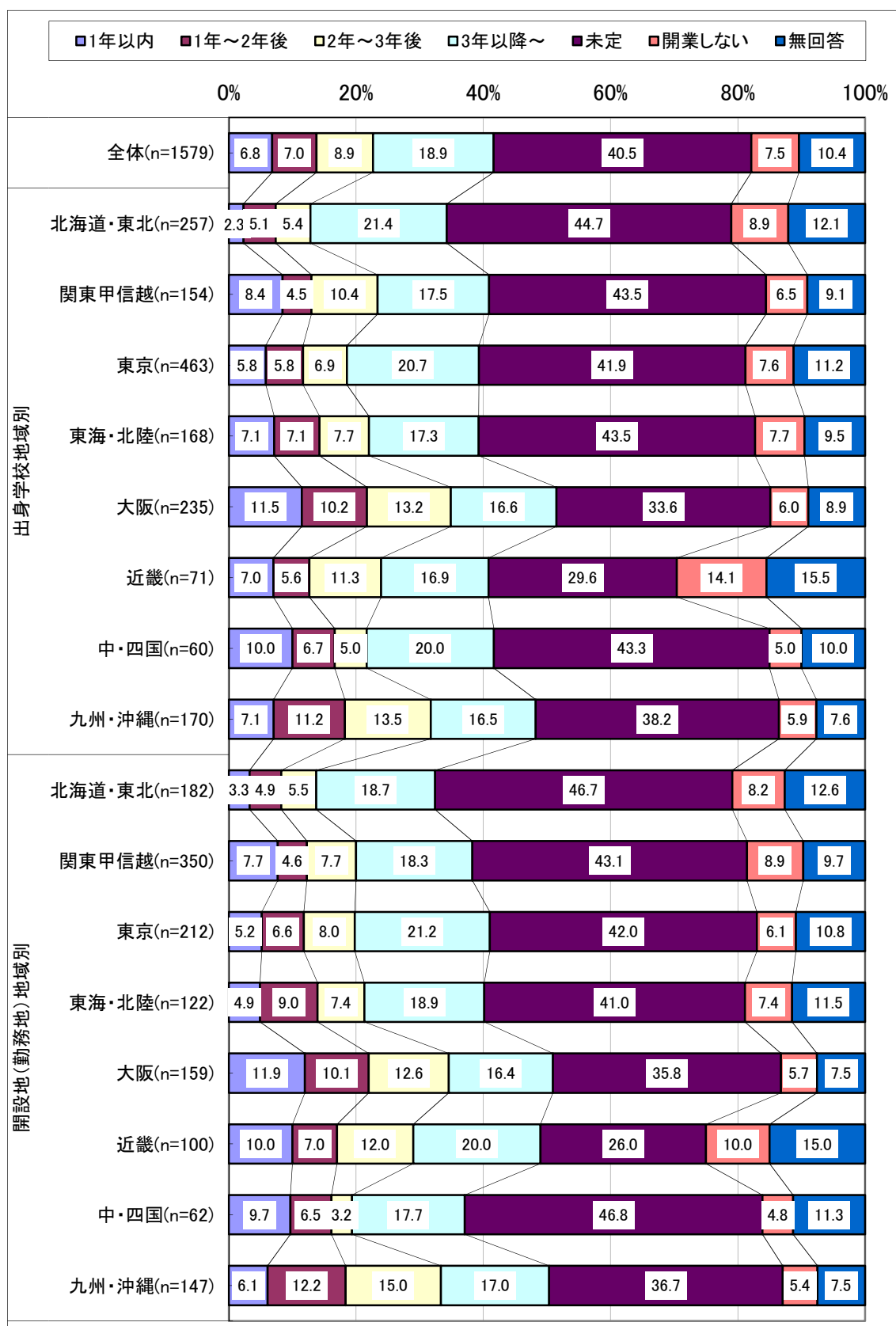
(開設地(勤務地)地域別)



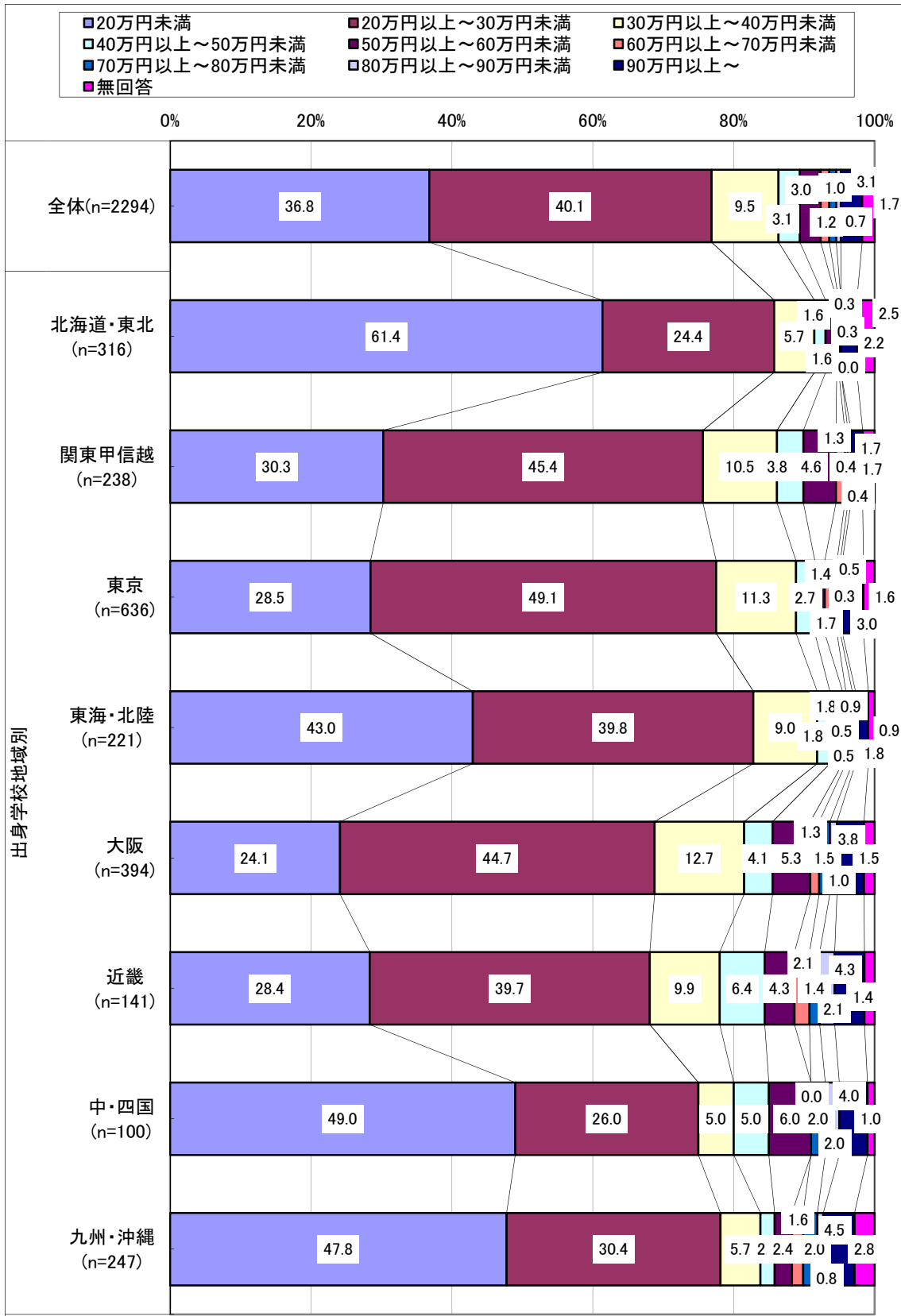
【図 1-13 施術所を開設していない方の今後の勤務予定】



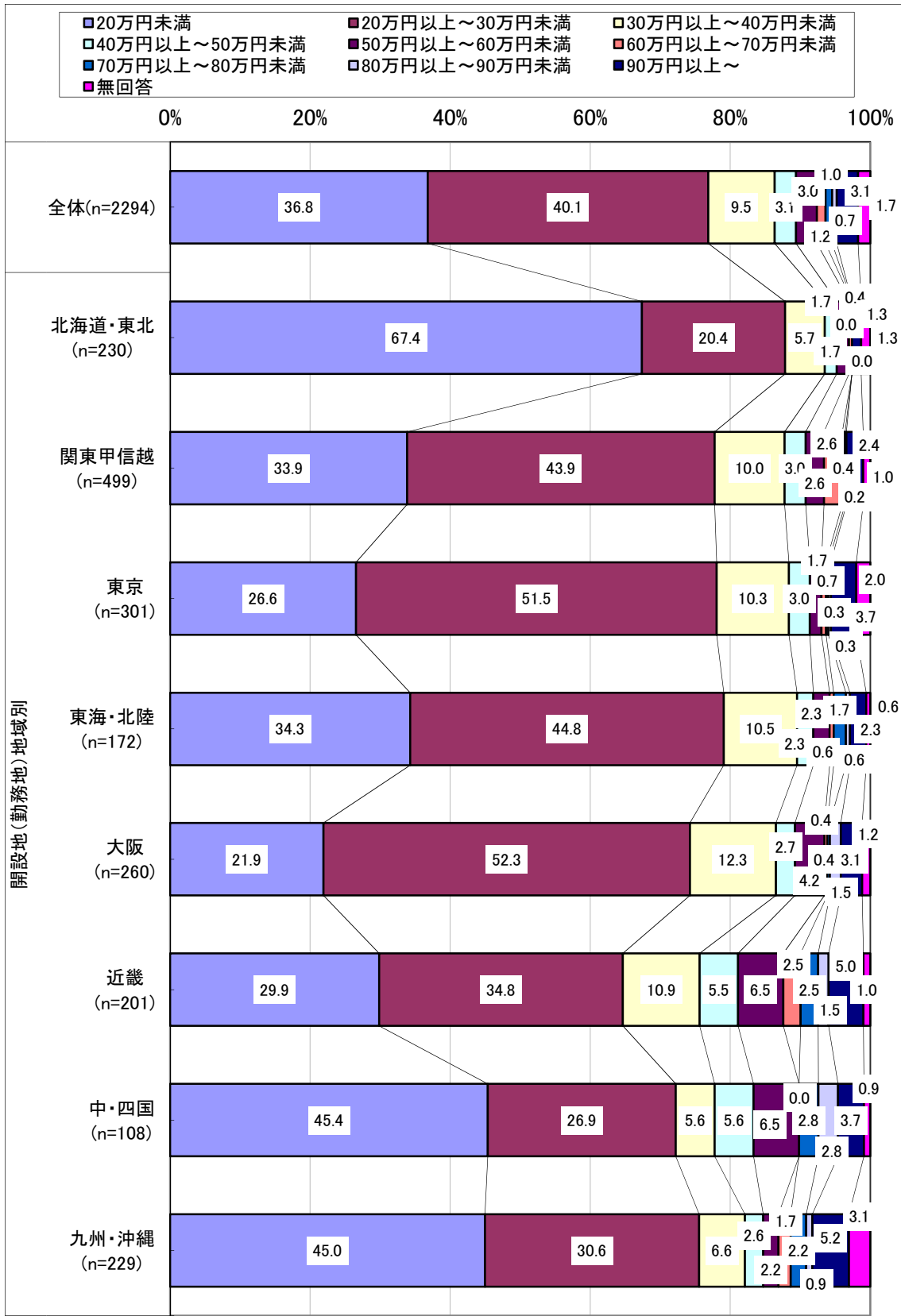
【図 1-14 施術所を開設していない方の今後の開業予定】



【図 1-15 収入(月額)】(出身学校地域別)



【図 1-16 収入(月額)】(開設地(勤務地)地域別)



2) 取得免許なしの方の現在の状況

【取得免許なしの方の現在の状況】

「取得免許なし」と回答された方の現在の状況に関する設問での回答では、全体として76.3%が「免許取得を目指している」と回答(無回答が20.4%を占めている)しており、取得免許なしの方たちのほとんどが、関連業務に従事しながら免許取得のために努力している現状を知ることができる。

地域特性としては、北海道・東北地域と東京地域で「免許取得をあきらめた」との回答が目立つものの、これについては両地域のこの設問に対する有効回答数が他地域よりも多い(北海道・東北地域が n=30,東京地域が n=20)ことも考慮しなければならず、単純に地域特性と見なすことはできないが、大阪地域(n=15)や近畿地域(n=10)と比較するとやはり両地域における「免許取得をあきらめた」との回答が多いことは一つの特徴とすることができる。

⇒ 図2-1

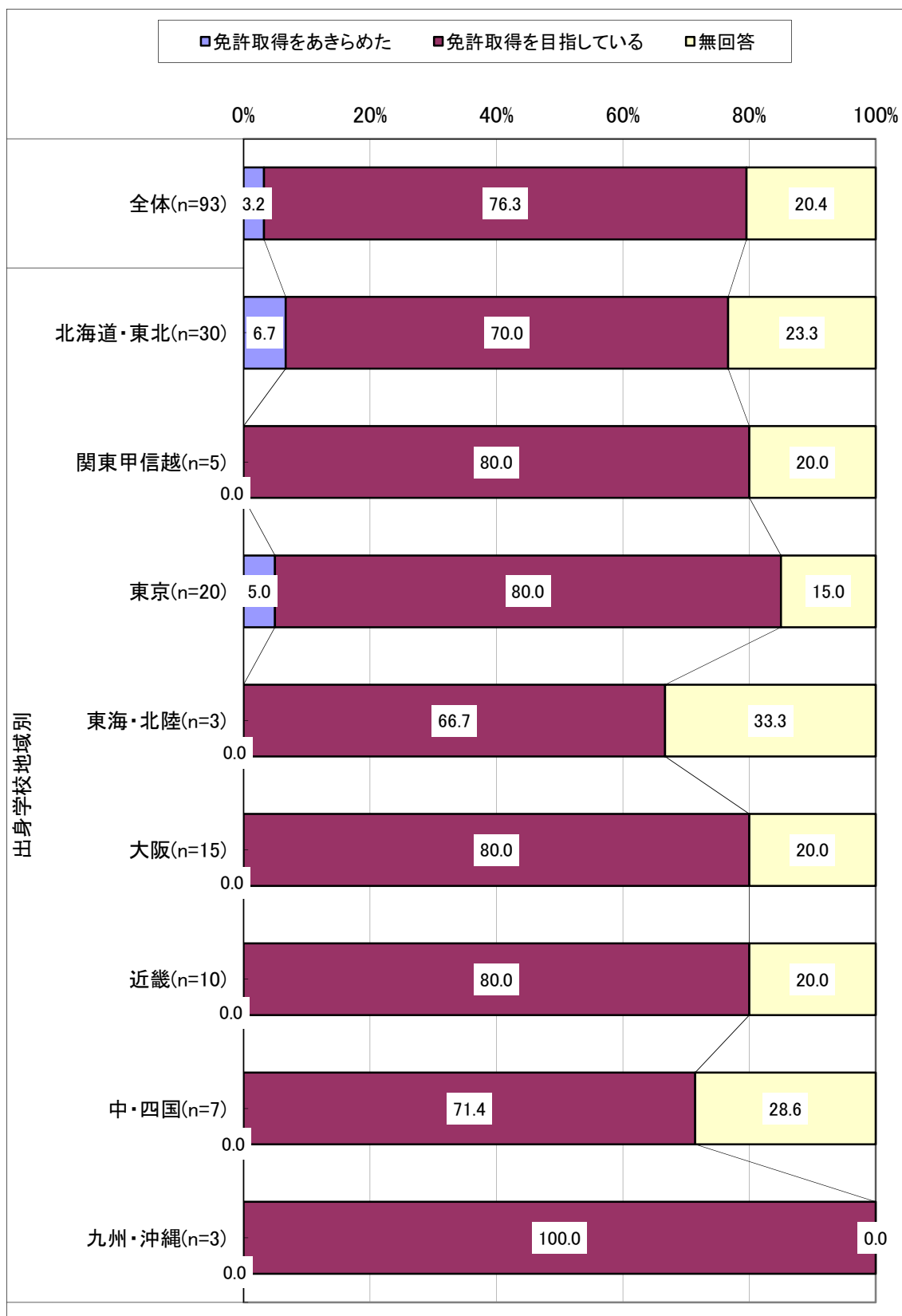
【免許取得をめざしている方の勉強方法】

免許取得をめざしている方の勉強方法としては、「自宅で学習」が60.6%を占めて第一位であり、次いで「卒業学校で勉強している」が29.6%を占めている。

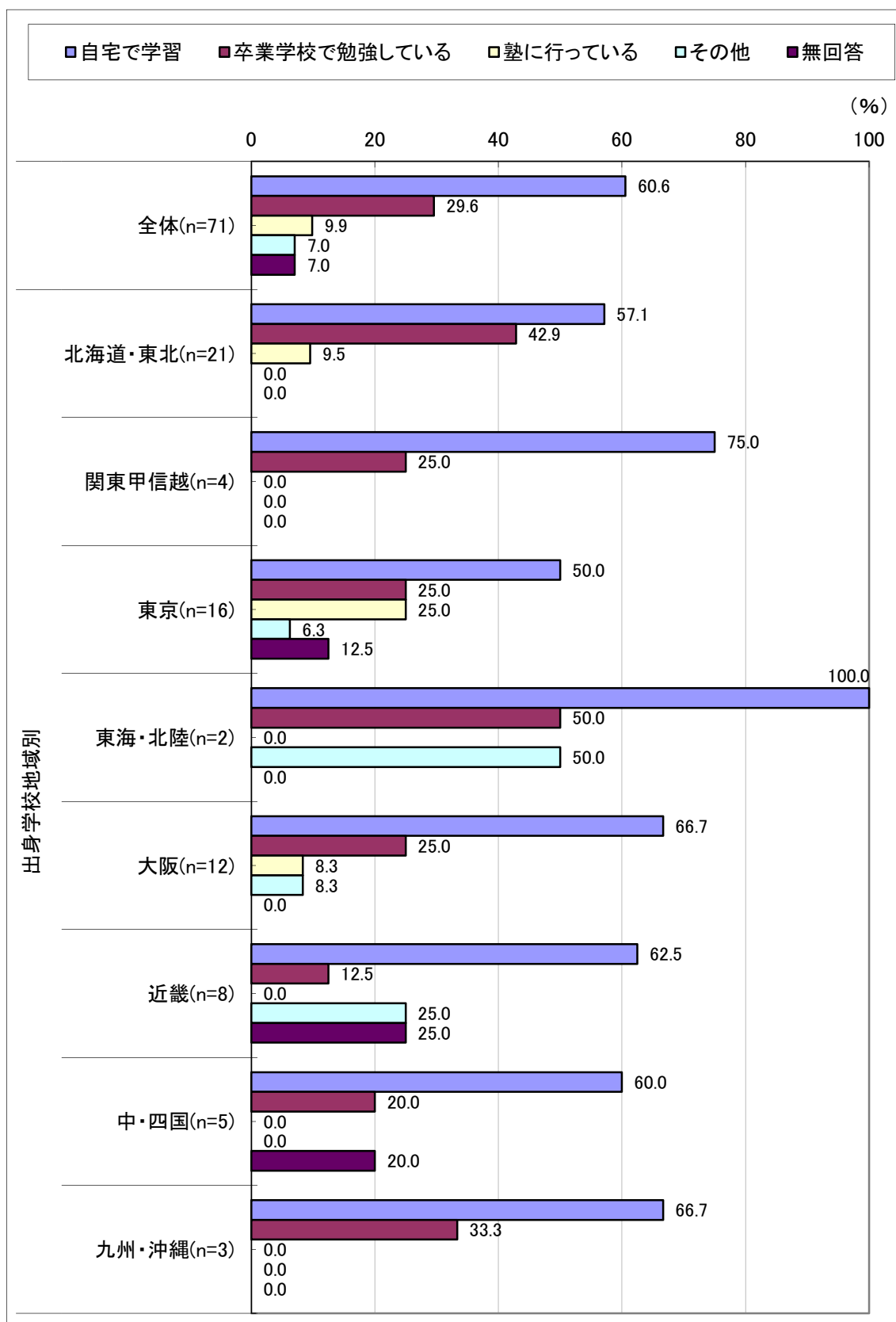
地域特性については、有効回答数が少ないために有意差を見出すことが困難であるが、有効回答数が10以上の地域では「塾に行っている」との回答が見られており、特に東京地域で「塾に行っている」との回答比率が高いことは、勉強する環境が多く存在している地域であることを反映しているものと考えられる。

⇒ 図2-2

【図 2-1 取得免許なしの方の現在の状況】(出身学校地域別)



【図 2-2 免許取得をめざしている方の勉強方法】(出身学校地域別)



3) 日本柔道整復・接骨医学会の入会状況、卒後臨床研修の受講状況

【日本柔道整復・接骨医学会の入会状況】

日本柔道整復・接骨医学会の入会状況では、全体の 63.2%が入会しておらず、有効回答数の 17.1%が現状入会しているという結果となっている。

地域的には大阪地域と近畿地域で「入会しない・していない」の比率が高く、逆に九州・沖縄地域では有効回答数の 37.7%が既に入会していると回答している。

なお、入会していない方の「入会しない・していない」理由については、「必要がない・メリットを感じない」が 12.5%、「開業していない」が 10.8%、「会費が高い・経済的理由」が 10.1%であり、学会の活動内容が十分に知られておらず、必要性や会費を払ってまで入会するメリットが見いだせない方が多いことを示している。実際、「(学会の活動や入会方法が)よくわからない、情報がない」といった回答も 13.9%にのぼっている。なお、「入会しない・していない」理由の主なものの比率は表 3-1、その他の理由の内容(自由記述)は表 3-2 の通りである。

⇒ 図 3-1, 表 3-1, 表 3-2

【卒後臨床研修の受講状況】

卒後臨床研修の受講状況でも、全体の 69.4%が「受講しない・していない」と回答しており、「受講中・受講した」は 27.3%に留まっている。

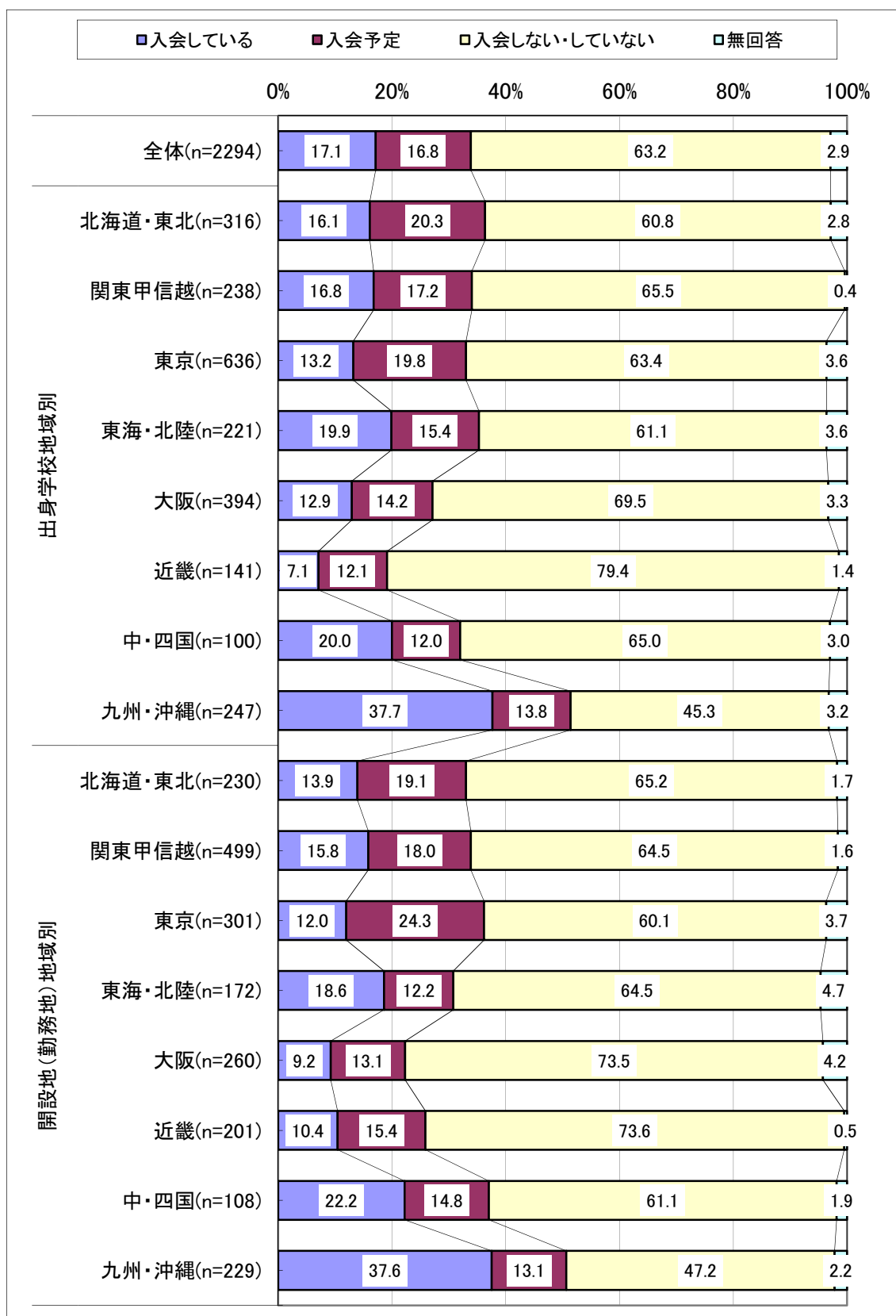
地域的には大阪地域、近畿地域での「受講しない・していない」の比率が高いのが特徴的で、特に近畿地域では「受講しない・していない」の比率が 83.0%に達している。一方、九州・沖縄地域では「受講しない・していない」は 53.0%と最も低く、「受講中・受講した」の比率は 43.7%と最も高い比率を示している。

卒後臨床研修を受講していない理由については、「その他」が 23.7%、「認定を受けていない施設で勤務している」が 22.0%、「研修制度を知らなかった」が 17.1%、「興味がない」16.7%、「受講するメリットがない」が 15.9%となっている。

「その他」の理由で最も多いのが、「時間がない」「日程が合わない」などの時間的な問題が 4 割強を占めており、勤務しながらの受講が難しく感じている状況を示している。

⇒ 図 3-2, 図 3-3, 図 3-4, 表 3-3

【図 3-1 日本柔道整復・接骨医学会の入会状況】



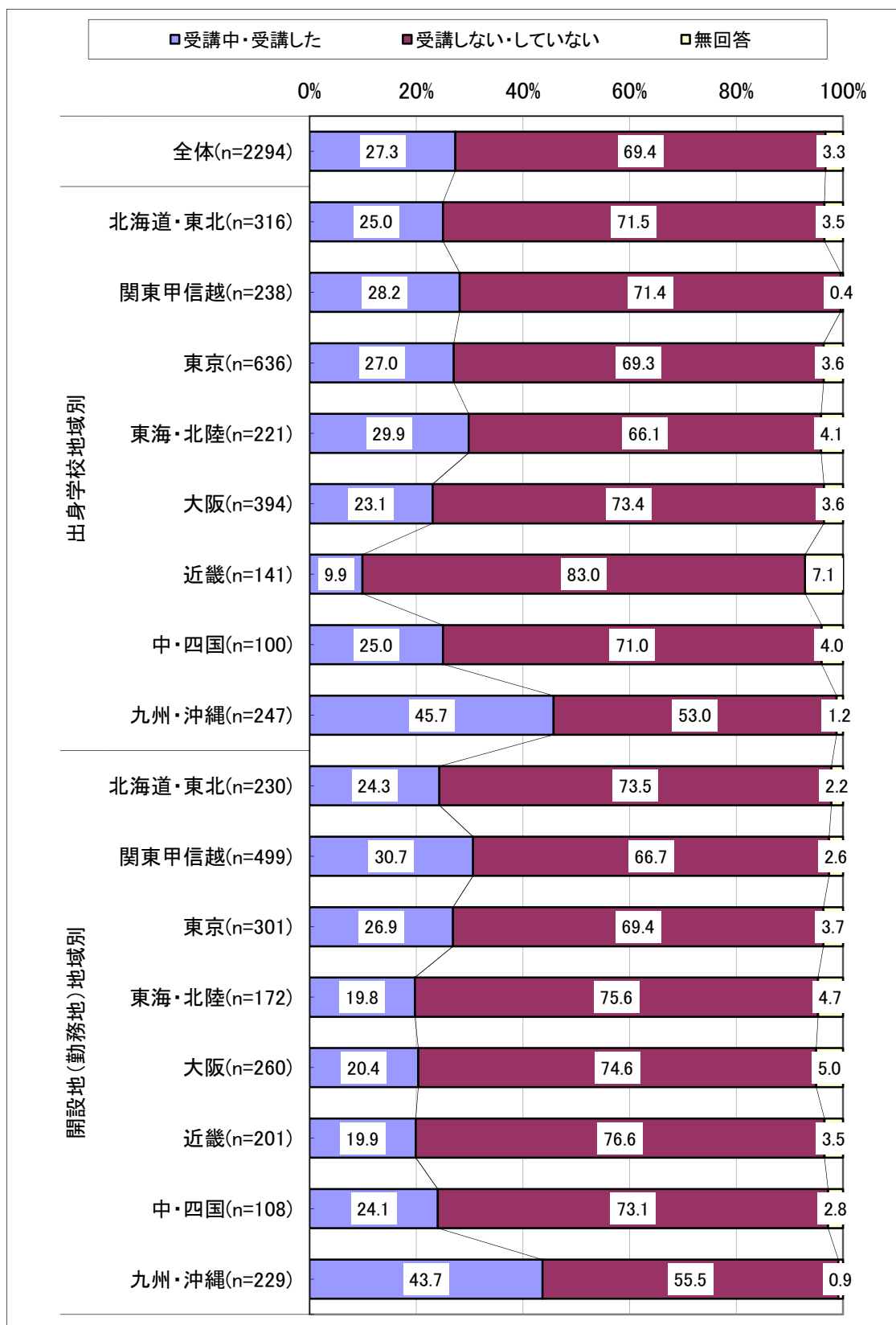
【表 3-1 日本柔道整復・接骨医学会の入会状況】

回答内容(理由)	件数	構成比
入会している	393	17.1%
入会予定	384	16.8%
入会しない・していない	1450	63.2%
無回答	67	2.9%
合 計	2294	100.0%

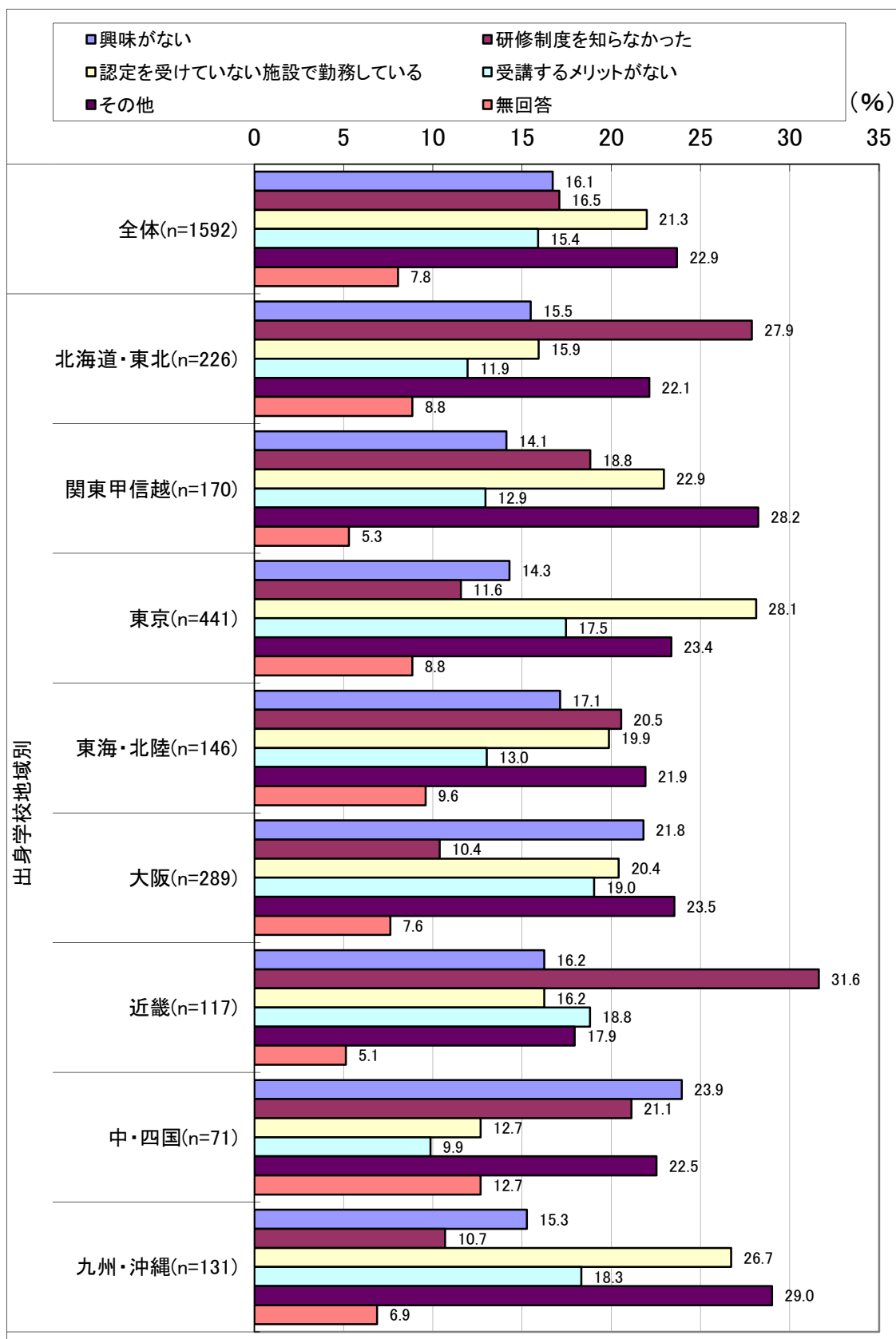
【表 3-2 日本柔道整復・接骨医学会の入会しない・していない理由】

回答内容(理由)	件数	構成比
興味がない	468	32.1%
学会の存在を知らなかった	456	31.1%
必要がない,メリットがない	53	3.6%
開業していない	46	3.1%
会費が高い,経済的理由	43	3.0%
勤務先の都合	28	1.9%
時間がない	23	1.6%
検討中	23	1.6%
他の業務に従事している	34	2.3%
他の学会(団体)に入会している	18	1.2%
機会がなかった	10	0.7%
よくわからない,情報がない	25	1.7%
特に理由はない	20	1.4%
その他	67	4.6%
無回答	148	10.1%
合 計	1460	100.0%

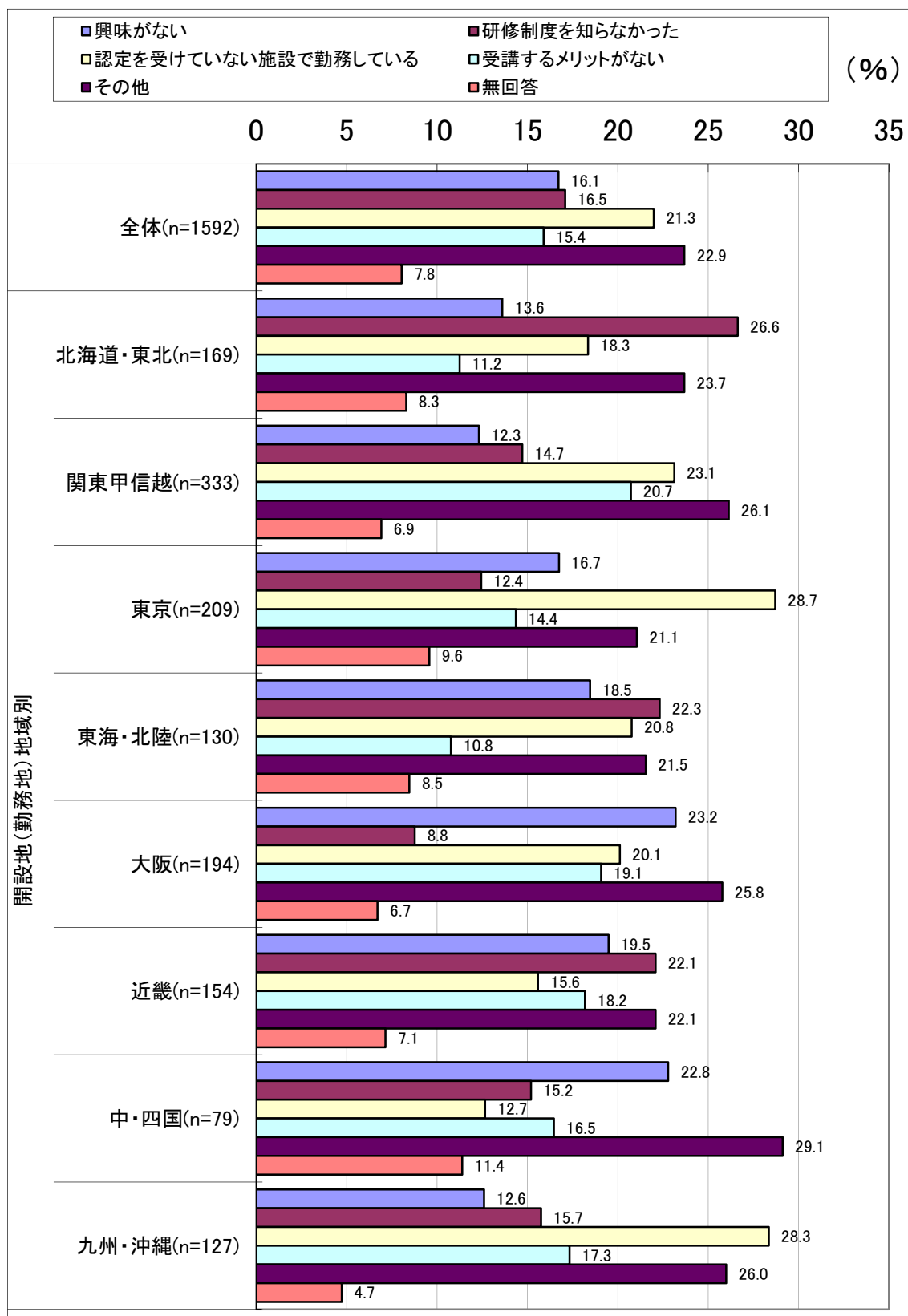
【図 3-2 卒後臨床研修の受講状況】



【図 3-3 卒後臨床研修を受講していない理由】(出身学校地域別)



【図 3-4 卒後臨床研修を受講していない理由】（開設地(勤務地)地域別）



【表 3-3 卒後臨床研修の受講状況】

回答内容(理由)	件数	構成比
受講中・受講した	627	27.3%
受講しない・していない	1592	69.4%
無回答	75	3.3%
合 計	2294	100.0%

【表 3-4 卒後臨床研修を受講しない・していない理由】

回答内容(理由)	件数	構成比
興味がない	266	16.1%
研修制度を知らなかった	272	16.5%
認定を受けていない施設で勤務	350	21.3%
受講するメリットがない	253	15.4%
時間がない・忙しい	150	9.1%
経済的理由	12	0.7%
研修場所が遠い	9	0.6%
研修についてよくわからない	23	1.4%
その他	183	11.1%
無回答	128	7.8%
合 計	1646	100.0%

※ 卒後臨床研修を受講しない・していない理由は一部重複回答があるため、有効回答数は 1646 件となった

柔道整復師養成施設卒業生
進路状況アンケート調査
結果報告書
＜平成23年12月 実施＞

社団法人 全国柔道整復学校協会
〒105-0013 東京都港区浜松町1丁目6-2 丸神ビル1F
TEL 03-5405-1690 FAX 03-5405-3790

無断転載・複製を禁じます。